

ふくち

おうち

福地 桜痴 (福地 源一郎)

* 天保12年3月23日

長崎市生まれ

* 明治39年1月4日

没(66歳)



「帝國画報」(富山房)より

○ 略歴

15歳の時、オランダ通詞名村花蹊に蘭学を学ぶ。

安政5年 江戸に出て英学を学び、幕府に出仕して通訳・翻訳の仕事に従事
(18歳)

文久元年 幕府使節の一員として渡欧し、西欧における新聞・雑誌の発達や
(21歳) 西欧演劇への関心を深める。(慶応元年にも再び渡欧)

明治元年 佐幕派の新聞「江湖新聞」を発刊したが、新政府から逮捕、
(28歳) 発禁処分を受ける。

明治3年 大蔵省に入り、翌年岩倉使節団の一等書記官として米欧を巡遊
(30歳)

明治7年 「東京日日新聞」の主筆に迎えられ、政府擁護の立場で自由民権派
(34歳) 批判の筆をふるう。(明治9年には社長に就任し、21年に引退)

明治11年 東京府議に当選(明治12年に議長に就任)
(38歳)

明治22年 歌舞伎改良を提唱して歌舞伎座を建設し、座主となる。
(49歳) 9代目市川團十郎と投合し、改良史劇を続々と発表する。

明治37年 衆議院議員に当選を果たす。
(64歳)

福沢諭吉と並んで「天下の双福」と称された。

○ 主な著作

「幕府衰亡論」(明治25) 「懐往事談」(明27) 「幕末政治家」(明33)

「もしや草紙」(明21) 「山県大弐」(明25) 「大策士」(明30)

「春日局」(明24) 「俠客春雨傘」(明27) 「大森彦七」(明30)